

競 技 注 意 事 項

1. 本競技会は2021年日本陸上競技連盟規則と本大会申し合わせ事項によって行う。

選手は競技開始2時間前より競技場に入場することができる。ただし、開場から2時間以内に競技開始となる種目については、競技者係の入場受付準備が整い次第の入場とする。

本大会は無観客で行う。

競技中以外はマスクを常時着用すること。(競技前などについては競技役員からの指示に従うこと)

2020年12月より改定されたWAのシューズ規則が適用され、靴底の厚さは下記の表のとおりとし、一次招集時にスパイクチェックと同様にシューズ計測を行う。

【靴底の厚さに関する規定(TR5.13.3) 表】

種 目	靴底最大の厚さ TR5.5、TR5.13.3	要 件 ・ 備 考
フィールド競技(除:三段跳)	20mm	投てき種目と三段跳を除く跳躍種目に適用する。 全フィールド種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
三段跳	25mm	靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
トラック種目 (ハードル種目を含み、800m 未満の種目)	20mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
トラック種目 (障害物競走を含み、800m 以上の種目)	25mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。 (競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは 40mm)
競技場内で行う競歩	40mm	
道路競技(競走・競歩)	40mm	

※ただし、フィールド競技用シューズについては、上記の規定適用を除外する。

2. 招 集 (コ ー ル) に つ い て

(1) 競技開始2時間前～1時間前(棒高跳のみ1時間30分前)に「健康状態申告兼体調管理チェックシート」をメインスタンド下室内練習場内に設ける受付場所にて提出し、スパイクとアスリートビブスの確認を受け、トラック種目は腰ナンバーカードを受け取ることで一次招集完了とし、現地で二次招集を行う。なお、100mの決勝レースについては、現地コール時に腰ナンバーカードを配布する。

(2) 二次招集(現地)時間は以下のとおりとする。

招 集 時 間	ト ラ ッ ク	跳 躍	投 て き	棒 高 跳
開 始 時 刻	1 5 分 前	5 0 分 前	5 0 分 前	7 0 分 前
完 了 時 刻	1 0 分 前	4 0 分 前	4 0 分 前	6 0 分 前

※トラック種目の現地集合は、密を避けるため、競技開始20分前にすること

また、競技前練習は密を避けるために競技役員からの指示に従うこと。

(3) 一次招集・二次招集(現地)に遅れた競技者は欠場したものとして処理する。

(4) 欠場する場合(受付後に欠場することになった場合も含む)は、欠場届を競技開始60分前までに競技者係へ必ず提出すること。
(用紙はHPにあるものをダウンロードして利用する)

(5) 多種目を同時刻に兼ねて出場する競技者は、事前に本人が招集所にある「多種目同時出場届」に必要事項を記入し、60分前までに競技者係へ提出すること。その場合に限り現地招集での代理人点呼を認める。

(6) リレーのオーダー用紙は、**第1組の競技開始の90分前までに**競技者係に提出すること。
(用紙はHPにあるものをダウンロードして利用する)

(7) 多種目同時出場届・欠場届は招集開始時刻までに招集所の競技者係まで提出すること。

3. アスリートビブス 必ず胸部と背部につけること。ただし、跳躍競技は胸部または背部だけでよい。

トラック種目では腰ナンバーカードをパンツの右側やや後方に付けること。

なお、腰ナンバーカードは主催者側で準備する。

4. 運営方法について

- (1) 800mは原則として1レーン2名でスタートし、120mでオープンとする。
- (2) バーの上げ方 走高跳 男子 1.50-1.55-1.60-1.65-1.70-1.75-1.80 以降3cmずつ
女子 1.20-1.25-1.30-1.35-1.40-1.45-1.50 以降3cmずつ
棒高跳 男子 2.60-2.80-3.00-3.20-3.40-3.60 以降10cmずつ
女子 2.00 以降10cmずつ
※走高跳・棒高跳ともに練習の高さは当日現地で決定する。
- (3) 高さ競技を除くフィールド競技においては、トップ8を行う。
- (4) 走幅跳・三段跳におけるカットラインは当日に跳躍審判長と主任で決定する。
- (5) 投てき競技はすべてフィールド内で行う。いずれの種目の投てき練習も競技場所に入ってから審判員の指示に従って行うこと。これ以外の投てき練習は禁止する。
- (6) 各自が持参した投てき用やりは検定を受けて使用する。(競技開始90分前から60分前までに器具庫前に持参すること。
- (7) 投てき競技の滑り止めについては、主催者は準備しないので、個人で持参すること。
- (8) フィールド競技の試技制限時間

単独種目

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上※	1分	1分	1分
2~3人	1分30秒	2分	1分
1人	3分	5分	—
連続試技※※	2分	3分	2分

※4人以上または各競技者の最初の競技

※※走高跳・棒高跳では、残っている競技者が二人以上で、同一の高さの時のみ適用する。

5. 表彰 各種目3位まで、また学校対校は総合第1位～第6位まで賞状を授与する。

6. 補助員

参加人数20名以上の学校で分担する。なお、当日の集合時間については、大阪高体連陸上競技専門部webに掲載する。

7. その他

- (1) 競技会開始前及び競技中のトラックでの練習については、次のレーン区分を守り、周囲の動きに十分注意して行うこと。

両日とも朝のトラック練習は8:30までとする。

長距離用周回練習(ジョグも含む):1・2レーン

直線での短距離練習:ホームストレート6・7・8レーン

コーナーからの短距離練習:ホームストレート3・4・5レーン

400mHの練習:女子は5・6レーン 男子は7・8レーン、

練習では余裕をもって長めに走り、戻りには十分に安全確認をすること。

【競技中のトラック練習】

※ホームストレートのみを使用してトラック競技が行われている際は、バックストレートを練習スペースとして開放する。

ただし、投てき競技や跳躍競技の進行の妨げにならないように留意すること。

(必要に応じて、競技役員により使用可能区域を制限する)

※サブグラウンドはアップ場として開放する。

- (2) 競技者としてのマナーを守る。本部前は生徒の通行は原則禁止。ゴール後は本部前を通らないこと。
また、トラック周囲を通行することは競技の妨げになるので、スタンド通路を通行すること。
- (3) フィールド芝生内への立ち入りは競技役員、補助員のみとする。
- (4) ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技区域内で所持または使用してはいけない。
- (5) メインスタンドには部旗等を掲げない。テントはメインスタンドおよびバックスタンド中段通路より上で、屋根のない所に設置する。
- (6) 貴重品・私物の管理は各校で責任を持つこと。盗難には十分に注意すること。

- (7) ケガ人が出た場合、本部で応急手当は行いますが、その後は各校顧問で処置して下さい。
- (8) ゴミはすべて持ち帰ること。
- (9) 駐輪禁止：点字ブロック周辺・正面階段前には自転車を止めないこと。
- (10) 付き添い者(マネージャー等)についての入場人数は、参加人数が1～9人の場合は1人、10～19は2人、以降10人ごとに1人入場することができる。受付時に体調管理チェックシートを提出し、入場許可証を受け取ること。
(再入場の際必要)
- (11) ハードル競技の準備・撤収については、審判業務中でない競技役員も補助員とともに行う。
- (12) 本大会の結果については、ラウンドおよび上位大会進出に関わるものを除き、掲示は行わない。
大阪高体連陸上競技専門部 web に随時アップデートするため、各自確認すること。

◎本大会で使用した個人情報につきましては、本大会の目的以外に使用することはありません。